

帯同中のボランティア、プロボノ活動：活動を通しての感想、意見

*フリーコメントより抜粋(一部加筆修正)

目次

[○活動で得られた価値、財産](#)

[○活動の感想](#)

[○活動の制約、要望](#)

[○報酬、ビザについて](#)

○活動で得られた価値、財産

・現地の方の役に立ち、社会的地位や意識の高い人々と繋がる機会を得られた事は、[お金を稼ぐ事とはまた違った価値](#)があったと感じている。交通費も出なかったが、活動を強制されるような事は一切なく、代わりに現地の有益な情報や海外に住む人から見た日本の良さや課題を知ることができたので、気持ちよく参加できた。

・少しでも迷っているなら短期でできるものを[一度やってみることをおススメ](#)する。向き不向きがなかったり、やってみて楽しめない・自分に合わないと思えるのも一つの貴重な経験。帯同中に様々な経験をできるのは[人生の中でも貴重な時間](#)だと思う。

・帰国後のキャリアとしては語学力の向上以外関係ないが、[精神面安定や健康維持にとても効果](#)があると確信している。駐妻は家族と自分自身の健康的な生活を支えることが実は忘れてはいけない最も重要な仕事なので、こういった活動が長い目で見ると人生の役に立つと思う。

・活動はととても楽しいので、帰国してからもできたら良いと感じている。仕事とは違うやり方でも[社会に貢献する方法](#)があると実感している。

・直接キャリアに繋がらなくても[社会に貢献](#)したい、という自分の意思を確かめることができた。

・採用市場では[実務経験](#)が求められるため、実案件に関わる機会が持ててよかった。

○活動の感想

・日常生活でも貧困や格差社会を目の当たりにすることがとても多く、課題解決のために何かしたいと思っている人は多かったはず。日本人が少ない地域でもあるので、[もっと形にして帰国できたらよかったのかなと少し後悔](#)している。

・どの活動でもリアル&オンラインが当たり前で、[PCやデジタルのスキルが必要](#)だと感じている。習得までの道のりは大変で、試行錯誤や失敗もあるが、次のチャンスがもらえる風土もあり、続けることが出来ている。

○活動の制約、要望

- ・リモートでのプロボノ活動の紹介がもっと増えたら嬉しい。
- ・フリーランス的に自分の好きな時間に予定を組めるような活動が良い。
- ・日本のプロボノ活動にリモート参加を検討したことがあるが、時差の関係で断念したことがある。
- ・現地の貧困課題解決のために何かしたい思っていたが、アクセス方法がなく苦労した。
- ・主たる仕事がない中でのボランティア專業は、キャリア志向型の人にとってはメンタル的に合わないことも多いのでは、と思う。
- ・コミュニケーションや擦り合わせのコストがかかっており、移動時間も含めると拘束時間が長い。

○報酬、ビザについて

- ・専門知識を無償で提供するのはいりすぎ搾取だと思う。
- ・善意の搾取にならないかという懸念がある。
- ・特に熱心なメンバーは身銭を切ることがある。キャリアに繋がるようなプロボノ活動は、できれば有償で実施したい。
- ・社会との繋がりが欲しかったので、ボランティアでも有難いと思う反面、就労VISAがあれば働けるのにと感じてしまうことがある。
- ・就労できないビザで、当時はオンラインで日本の仕事をするという選択肢もほぼなかったため、仕方なく無償でボランティアをしたものの、無償だと任せる方もやる方も責任の重い仕事は難しく、結果やってもやらなくても良い仕事になりがち。自分で責任を持ちつつしっかり働くには、ちゃんと報酬が必要だと思った。
- ・ビザの条件的に実質無償のボランティアしか選択肢がないのが非常に残念。依頼する側もそれに甘んじることなくフォローや感謝があればよいが、日を迫うごとにそれらは減っていくのが現状で、結局はボランティア離れにつながっている気がする。ただ、単なるお茶会よりは気を遣わずかつスキル維持につながるため、メリットもある。
- ・労働は可能という帯同地域のビザ規定は確認しているが、収入を得ることの可否は現地税理士と相談した方が良いと思う。夫の扶養の範囲内での収入を考慮する必要があり、なかなか躊躇してしまう。